

SMA ケーブル MW-C-PJ-2M-1 データシート

Ver. 1.0.3

モノワイヤレス株式会社

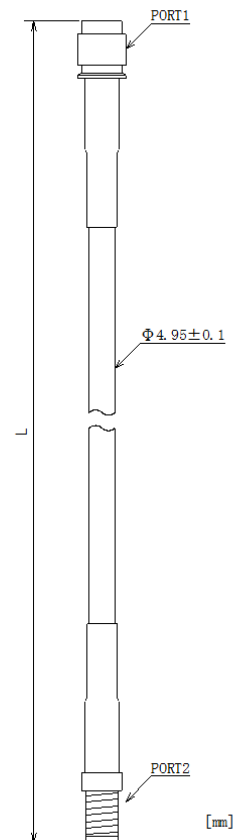
1. 製品概要

TWELITE シリーズ同軸コネクタタイプ専用、SMA ケーブル。

2. 主な特徴

- 1) 同軸版の TWELITE シリーズに弊社アンテナを取り付ける際に使用する SMA ケーブルです。
(同時に、SMA 変換ケーブル(MW-C-UJ-*)も必要です。)
- 2) 屋内アンテナ(MW-A-D85)や防水アンテナ(MW-A-D114)を直接取付ることが可能です。
- 3) 最大 3 本まで連結可能であり、3 本連結した際のケーブル長は 6[m]となります。
- 4) 環境への配慮:RoHS

3. 外観寸法



<図 1>

4. 仕様

表1 仕様

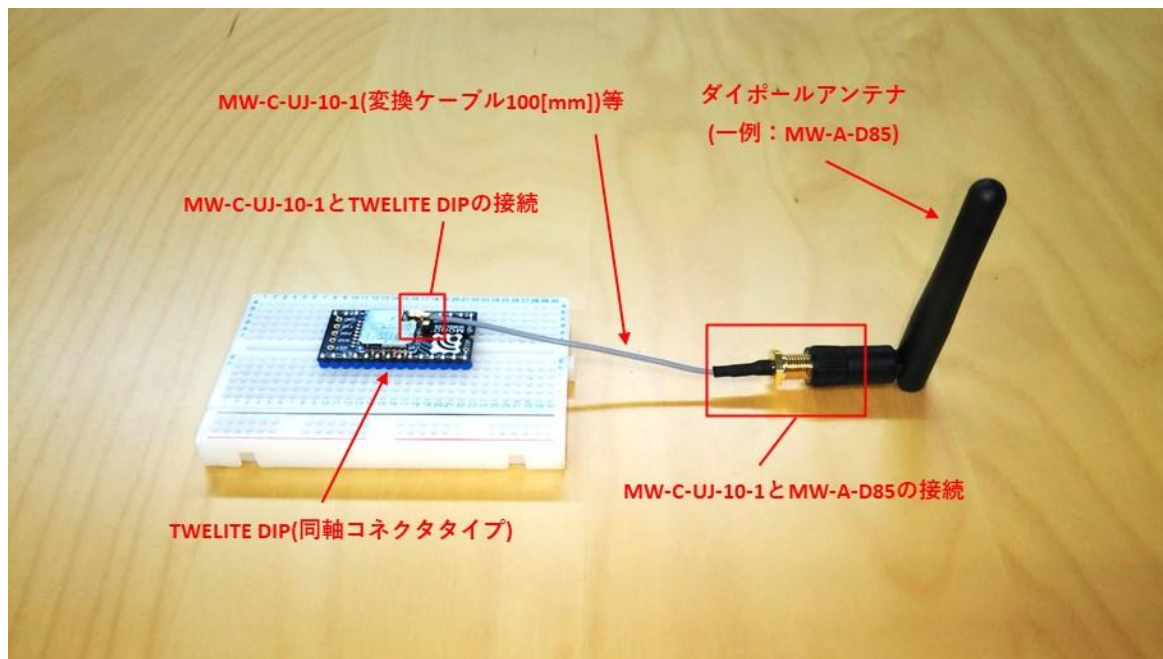
型番	MW-C-PJ-2M-1
PORT1 のコネクタ	SMA(P)
PORT2 のコネクタ	SMA(J)
使用温度範囲	-40[°C]~+85[°C]
耐久性と締め付けトルク	500 回以下 0.45[N・m]
ケーブル曲げ特性	最小曲げ半径 25[mm]

表2 Lの寸法とロス

型番	L	ロス
MW-C-PJ-2M-1	2000[mm] 誤差最大(+100[mm]~-30[mm])	最大 2.00[dB]

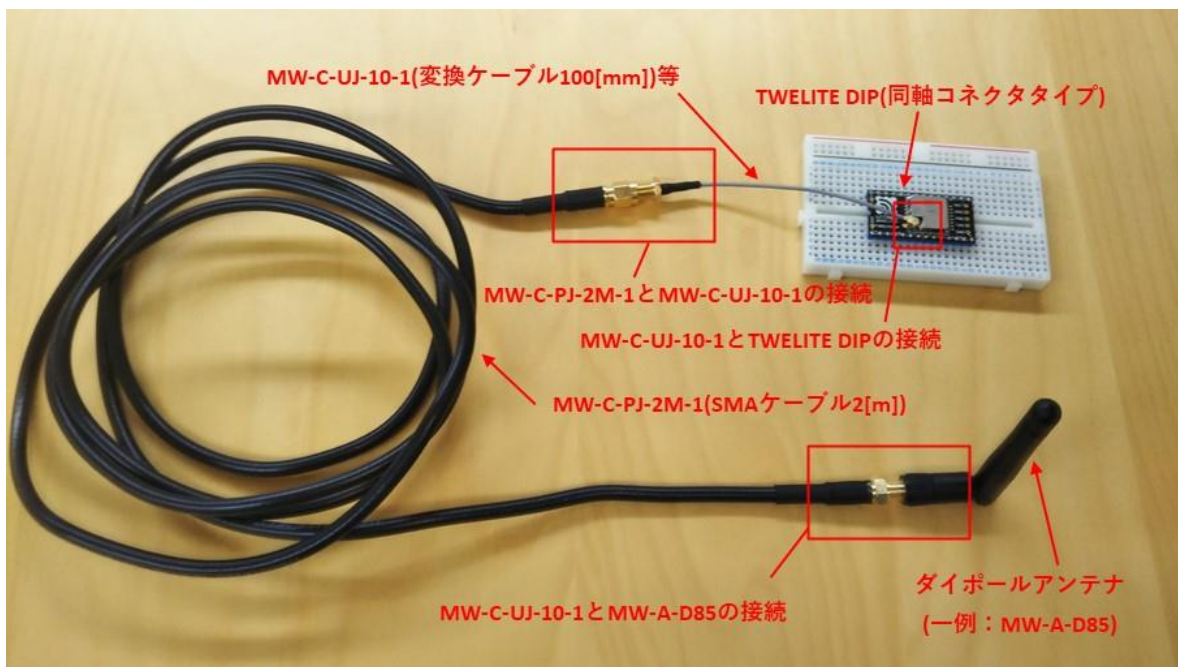
5. TWELITE-トワイライトとアンテナの接続方法

TWELITE-トワイライトとアンテナ(一例として弊社製品:MW-A-D85)を接続する際は SMA 変換ケーブルが必要です。



<図 2>

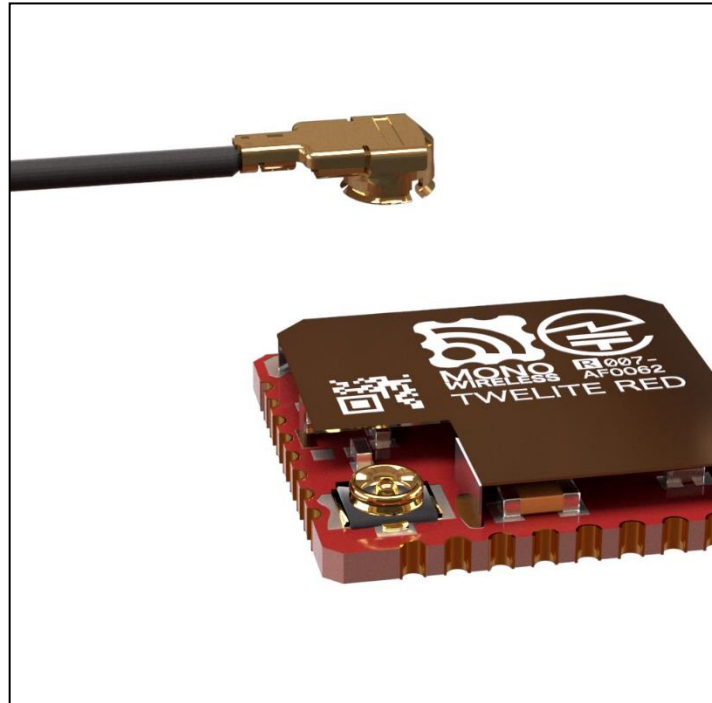
SMA ケーブルを使用することにより、アンテナの設置距離を延ばすことが可能です。



<図 3>

● MW-C-UJ-10-1 と TWELITE DIP の接続

- 1) <図 4><図 5>の様に、TWELITE トワイライトと本製品の同軸コネクタ同士が平行となり更に中心を合わせた状態に、先端部のみ嵌め位置決めます。



<図 4>



<図 5>位置合わせ<OK 例>

<図 6>の様に、斜め、又は<図 7>の様に、同軸コネクタ同士がズレた状態で、接続すると、同軸コネクタの破損原因となります。

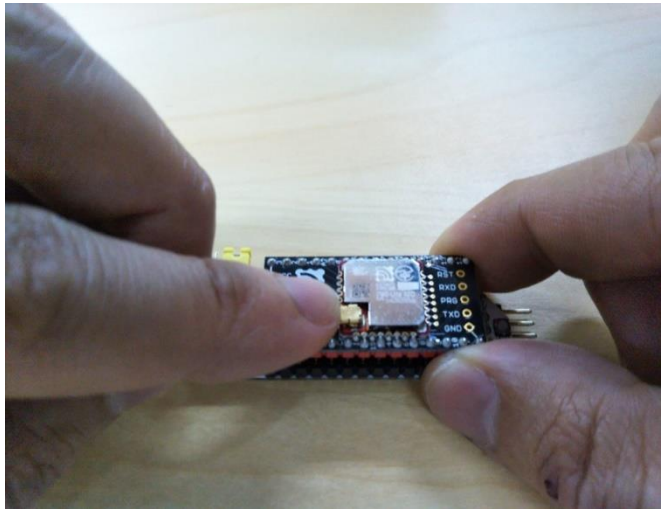


<図 6>位置合わせ<NG 例.1>

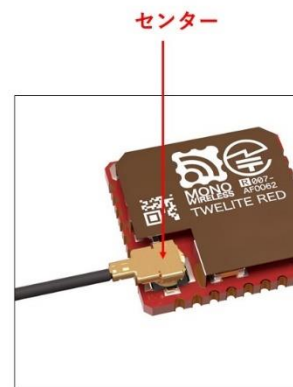


<図 7>位置合わせ<NG 例.2>

- 2) <図 8>に示す SMA 変換ケーブルの同軸コネクタのセンターを指先で真上から徐々に押し、「カチッ」という音がすると接続終了です。

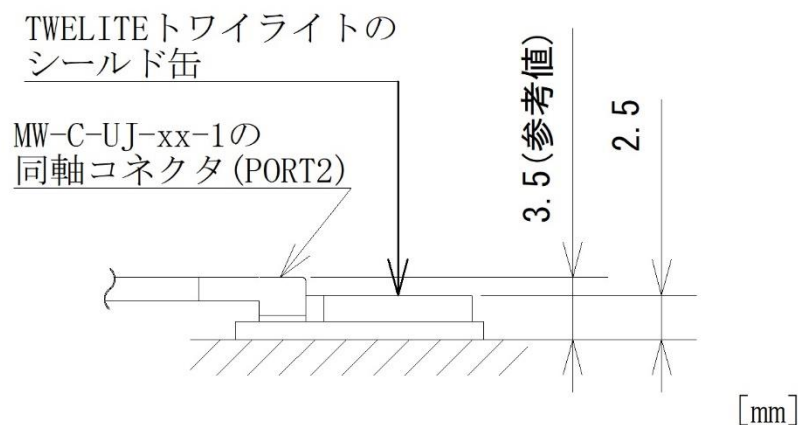


<図 8>



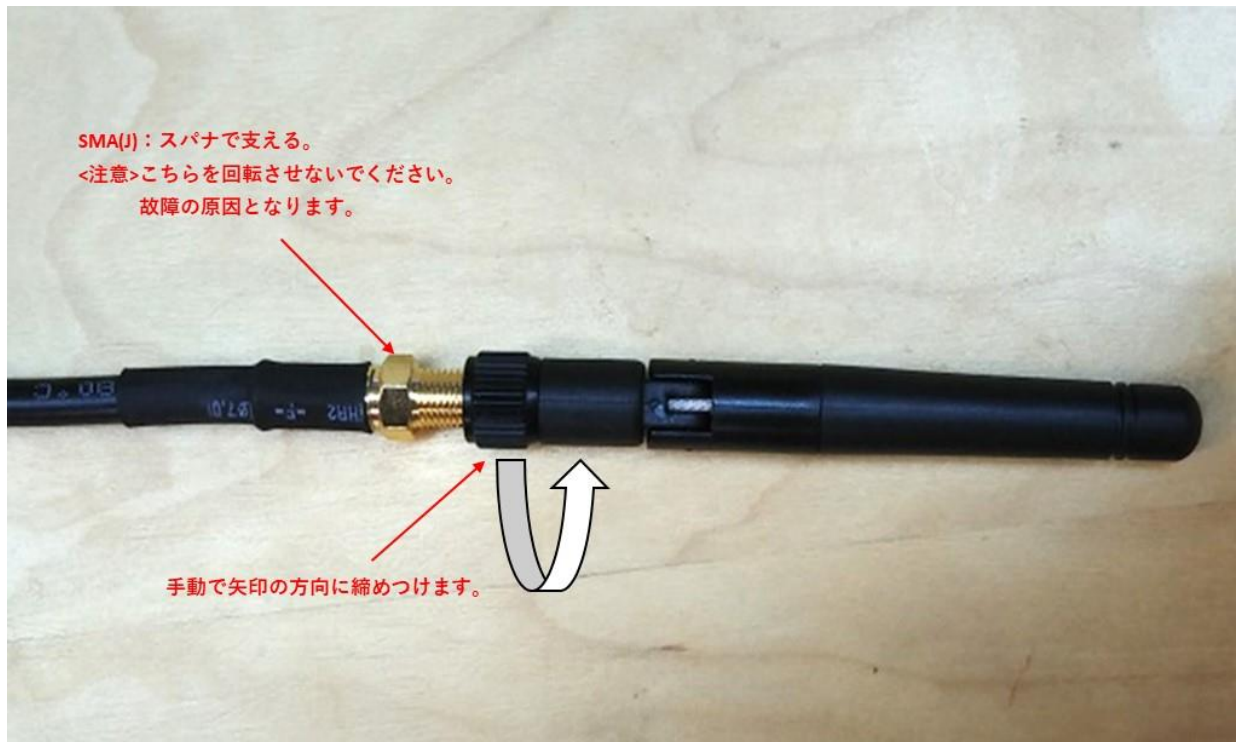
<図 9>

- 3) 接続後の同軸コネクタと TWELITE トワイライトの寸法



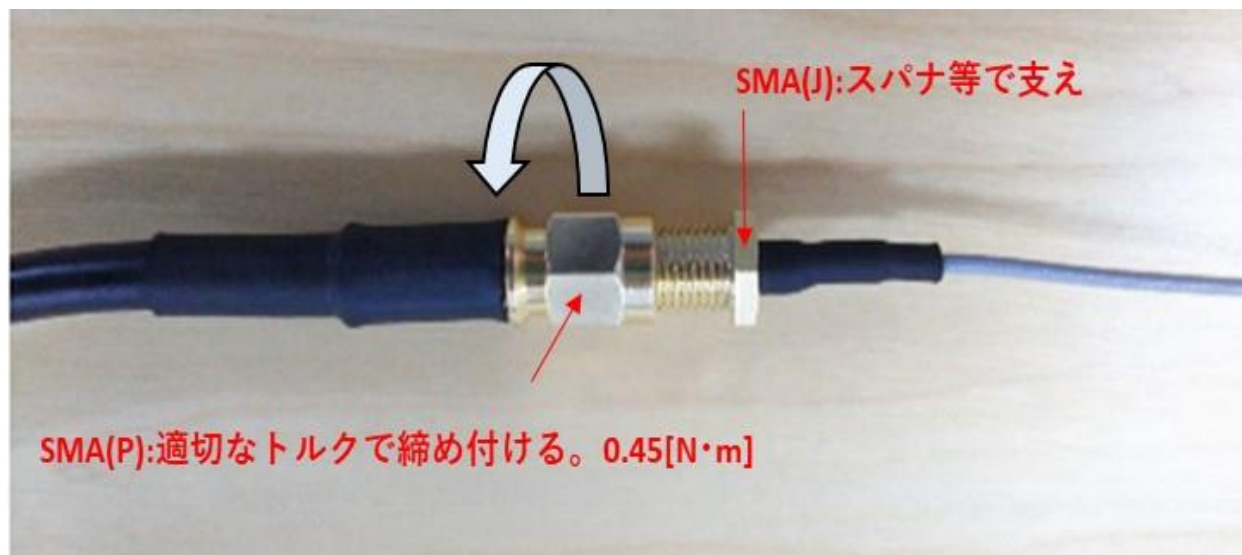
<図 10>

- MW-C-UJ-10-1 と MW-A-D85 の接続



<図 11>

- MW-C-PJ-2M-1 と MW-C-UJ-10-1 の接続



<図 12>

- SMA(P)と SMA(J)の接続方法(一例として MW-C-PJ-10-1 を 2 本使用して 4m のケーブルにする。)



<図 13>

6. TWELITE-トワイライトとアンテナとケーブルの組合せ例

TWELITE トワイライトとアンテナとケーブルの組合せ例を<表 3>に示します。

表 3 TWELITE トワイライトとアンテナとケーブルの組合せ例

TWELITE 同軸コネクタタイプ	接続 1 変換ケーブル	接続 2 SMA ケーブル 1	接続 3 SMA ケーブル 2	接続 4 SMA ケーブル 3	接続 5 アンテナ	SMA ケーブル 合計
TWE-L-U MW-R-U TWE-L-DI-U MW-R-DI-U	MW-C-UJ-xx-1				MW-A-D85 MW-A-D114	
		MW-C-PJ-2M-1			MW-A-D85 MW-A-D114	2m
		MW-C-PJ-2M-1	MW-C-PJ-2M-1		MW-A-D85 MW-A-D114	4m
		MW-C-PJ-2M-1	MW-C-PJ-2M-1	MW-C-PJ-2M-1	MW-A-D85 MW-A-D114	6m
		MW-C-PJ-2M-1	MW-C-PP-1M-1 (※1)		MW-A-BP01	3m
		MW-C-PJ-2M-1	MW-C-PJ-2M-1	MW-C-PP-1M-1 (※1)	MW-A-BP01	5m

※1: MW-C-PP-1M は MW-A-BP01 に付属している SMA ケーブルです。

※2: アンテナ・変換ケーブル・SMA ケーブルは<表 3>の組合せのみ使用可能であり、日本国内の認証を得た当社取扱品を使用してください。

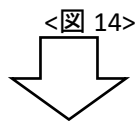
7. 追加工方法

本製品を使用し MW-A-D114 や SMA ケーブルを接続させた場合の追加工の一例を説明する。

※防水性や紫外線に対する遮蔽性等は、お客様で判断してください。

1) SMA ケーブル同士の追加工

SMA ケーブルの結合部分を覆う様に絶縁テープを巻き付ける。



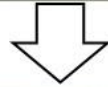
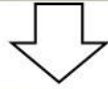
<図 15>

2) SMA ケーブル(MW-C-PP-xx-1)とケース外設置アンテナ(MW-A-D85、MW-A-D114)の追加工法

CASE1:アンテナの可動が必要無い場合、接合部、可動部を覆う様に絶縁テープを巻き付ける。<図 17>

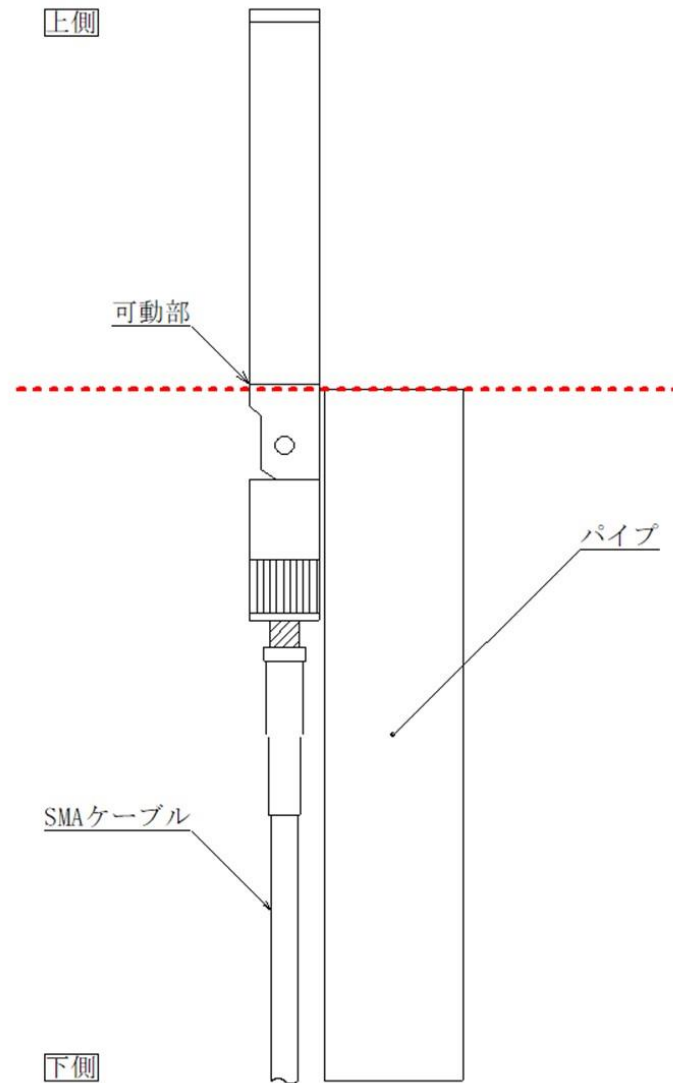
CASE2:アンテナの可動が必要な場合、接合部分を覆う様に絶縁テープを巻き付ける。<図 18>

可動部に絶縁テープが覆わない様にする。



7. 設置例

図 19 に示す赤線部分より下側部分に、タイラップ・絶縁テープなどを用い、パイプ等に括り付ける。
ただし、アンテナ全体をパイプ等に括り付けしないでください。(アンテナ特性が悪化する可能性があります。)



<図 19>

8. 備考

- 1) コネクタの取り付け・取り外しの際は、トルクレンチを使用することを推奨します。
- 2) MW-C-UJ-10-1 の PORT2 のコネクタの取り外しは、第一精工株式会社製の治具(P/N:90192-001)を使用することを推奨します。